

雨晴



雨晴/AMAHARE Press Release

Starting Anew with Rain
at

アメノイエ

On July 11th

雨晴



アメノイエ
ココチヨイ
イキキシテ
アメトハレ
アタラシイ
ナツカシク
カエリミテ
トチノアジ
メガハエル
ヒカリサシ
ヌレソボツ
アメガフリ

雨☼晴



アメトカグラザカ

2024年7月11日(木)。

私たちは東京・神楽坂に「アメノイエ」という家を持ちました。

アメノイエは「チャノマ」「イマ」「ダイドコロ」「オフロ」、
4つの「マ」をもつ家です。

それぞれの「マ」で過ごす時間を
Online ShopやSNSを通じてシェアしながら
皆様と共にくらしを紡いでいく新しいブランド
「アメノイエ」にどうぞご期待ください。

雨☼晴



アメ ト ツムグ

くらしの中に自然と溶け込み、心地よく思えるモノ。
こころを豊かにさせてくれる、心地よい時間。

アメノイエは、みなさまのくらしにそっと寄り添い
幸せを分かち合える存在でありたいと願っています。

柔らかな光が差し込んで気持ちよく起きる朝
お茶をいれてほっと一息つく午後
雨音に包まれて心地よく眠る夜

日々のくらしに物語があるように
モノにもひとつひとつに込められた物語があります。

そんな背景や想いを大切に
みなさまと共に心地よくくらしをアメノイエで紡いでいきますように。

雨☼晴



チャノマ



イマ

雨☼晴



ダイドコロ



フロ

雨晴



アメノイエ

Website <https://amenoie.jp/>

Instagram <https://www.instagram.com/amenoie.jp/>

E-mail info@amenoie.jp



Website



Instagram

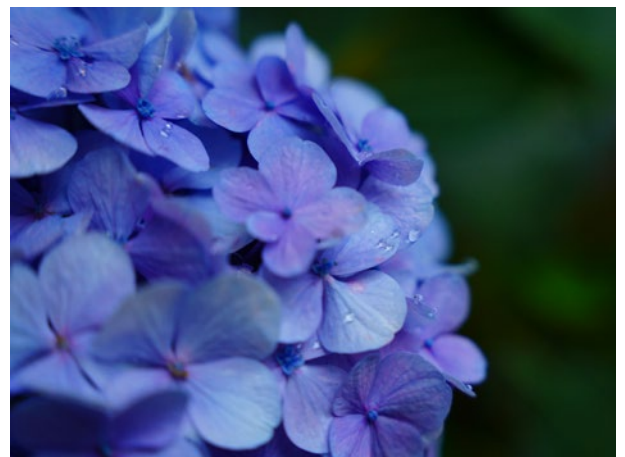
【 オトイアワセ 】

オモビト株式会社 雨晴事業部

アメノイエ 小原有美子

Tel 080-5859-7719

E-mail y-obara@omobito.jp



雨晴

アトガキ

東京・白金台の街の移り変わりを半世紀以上見守り続けてきた「マンション白金苑」の1階に「雨晴/AMAHARE」ができてから早いもので9年の月日が経とうとしています。

開業当初は「作家もの」「産地もの」を分け隔てなく扱う新しい感覚の工芸店を目指しておりましたが、白金台という場所でお客様のご期待にお応えし続ける中で「作家もの」中心の品揃えに変化してきました。

現在、日本国内は勿論のこと海外に住む方々からも日本の工芸やその延長にあるアート作品へ熱い視線が注がれていることを昨秋、京都・四条に開業した「KYO AMAHARE」を通じて実感しているところです。

「産地もの」も作家もの同様にオファーが絶えない作り手の方も多くいらっしゃいます。一方、産地という広い視点で見ると後継者不足による職人の高齢化が進み継続の可否が問われる状況になっています。

私たちが関わることで解決できることはそう多くないと思います。

しかしながら、産地があつてこそ、工芸が成り立っているという原点に立ち返り、いま私達ができるかたちで産地の皆様と繋がりを持ちたいと強く思うようになりました。

それを目的に生まれたのがこの「アミノイエ」であることをここでお伝えさせていただきます。

更にもうひとつ。

「アミノイエ」は雨晴の第二世代が中心となって始めた新プロジェクトです。雨晴は店舗も増えチーム力も増し、頼もしいメンバーに恵まれながら運営できていることにとっても感謝しています。

自分が9年前に持っていた熱い想いを新しい世代に引き継ぎ、「工芸を伝える側の人材育成も見据えながらこのプロジェクトを発展させて頂くことができれば」その想いが詰まっていることもあわせてお伝えさせていただきます。

私をはじめ、「雨晴/AMAHARE」「KYO AMAHARE」「茶房 居雨」「雨晴Online Shop」そして「アミノイエ」のメンバーはまだまだ未熟な点が多くあるかと存じます。引き続き温かい目で見守って頂ければ幸いです。

今後ともどうぞ御最良によりしくお願い申し上げます。

オモビト株式会社
雨晴事業部 執行役員
雨晴/AMAHARE 主人・ディレクター
金子憲一